

リスクマネジメント ～計数調剤時における調剤ミスの対策～

尾久ミキ薬局
○佐次田 聖、伊藤 剛志

【目的】

入社して半年がすぎますが私達は計数調剤の時に間違いが多いです。
先輩がどのような対策をしているかを聞き、参考にして自分たちの成長につなげる。

【方法】

第2ブロックの先輩の皆さんにご協力していただきアンケートを行いました。

アンケートの内容は

- ① 計数調剤時はどのようなミスが多いか
- ② ミスが起こりやすい時
- ③ 調剤ミスの対策
- ④ 調剤ミスが続いてしまった時の対策

その後、アンケート結果を参考に、私達は

- ・ 指差し確認
- ・ 監査台に出す前に計数の確認

実行することにしました。

その後、再度集計をとりました。

【結果】

調剤ミスの減少につながりました。
特に数量間違い、調剤漏れが大幅に減少した結果になりました。

【考察】

指差し確認をすることにより規格や目的とする薬の取り間違いを防ぎ、監査に出す前に再度確認することにより自分自身で薬の錠数などのダブルチェックができると感じました。

今回の取り組みで行ったのは、指差し確認ですが、自分で調剤したものを監査に出す前に自分で再確認することがものすごく大切だということが分かりました。

結果からは減ってはいますが、まだまだ間違いをしてしまうので、これからも努力して行きたいです。
また薬剤師として働く上で、リスクはつき物ですが、一生懸命やって行きたいです。